

研究活動報告 (33) 《寄稿》

ネイチャーゲーム&イニシアティブゲーム

久保 和之*

2004年4月に社会学部コミュニティマネジメント学科は地域で活躍する人材を養成するべく設立されました。そのなかでスポーツやレクリエーションを利用して地域で活動する人材の育成も含まれており、ライフデザインという視点からのカリキュラムも構成されています。その一つの科目が「レクリエーション実技A」であり、子どもから高齢者まで各世代を通して、誰もが楽しめるレクリエーションの技能の習得を目指して開講されています。

「レクリエーション実技A」では、軽スポーツをはじめ工作や室内ゲームなどを学習している。開講以来、その中の一つのプログラムとして「龍谷の森」を利用したレクリエーションも取り入れている。2009年度の授業では、11月19日に「龍谷の森」へ出かけ、以下のようなネイチャーゲームおよびイニシアティブゲームを実施しました。

* 龍谷大学社会学部准教授

活動1：森林浴

森の中を歩くこと自体が非日常であり、心身のリフレッシュをする。



写真1. 森の中を歩く

活動2：自分の木

二人組で一人（A）がアイマスクを着用し、もう一人（B）が手を引いて森の中の1本の木のところまで誘導する。アイマスクをした人（A）はその木を触り、感触や太さなどを体感する。その後、スタート位置にもどり、アイマスクを外して先ほどの木がどれかを探し当てる。

活動3：森を感じる

森の中で数本の木と木の間に1本のロープを引っ張り、アイマスクをしたまま、そのロープを辿って歩く。



写真2. アイマスクをしたままロープをたどって歩く

活動4：川越え

決められたスタート地点からゴール地点まで、グループで移動する。移動の際には決められた物（円板）の上しか乗ることができない。物（円板）の数はグループの人数より2～3枚ほど少ない。

活動5：溶岩台地

定められた一定の区画の範囲に6人前後のグループメンバー全員が工夫して乗る。森の中では切り株や用意した円板を利用。

活動6：クモの巣

木と木の間にロープをクモの巣状に張り、グループで協力してロープに触れないようにその間をくぐりぬける。

活動7：並び替え

横たわる木の上にグループメンバーが協力して並ぶ。整列した後、木から落ちないように協力して生年月日や身長順に並び変える。



写真3. “並び替え”を試みているところ